

ご意見の内容及びご意見に対するご回答

意見提出元： Wi-SUN アライアンス

No	該当箇所	ご意見の内容	ご回答
1	29 ページ記載の物理層とMAC 層が記載された無線通信方式	<p><意見内容></p> <ul style="list-style-type: none"> - 電気、ガス、水道用スマートメーターに対する無線通信方式は、干渉回避の観点からおよび周波数利用率の向上の観点から同じものもしくは統一する必要がある。 - スマートメーターに対する無線通信方式は、適切な価格で入手できるよう世界的に展開されている標準化機関で標準したものを選択すべきである。 - スマートメーターに対する無線通信方式は、各企業間で相互接続が保証された無線通信方式を選択すべきである。その総合接続性は、世界的に展開された相互認証機関で議論、承認されたものであるべきである。東京電力は、このような機関と密接な連携をとり、相互接続性に関する議論を主導し、世界各国からなるメンバーとともに、相互接続性を担保可能な通信システムのスペックと、テストプランを制定する必要がある。そのスペックは、標準化スペックから抽出された幾つかの部分と、上記の機関で議論された新しい追加項目が記載されている。 <p><理由></p> <p>東京電力はスマートメーターシステム導入にかかるコストを下げるために、スマートメーター用の無線機を適切な価格で購入すべきである。そのような無線機を持つために、多くのメーカーがその無線機を供給し、国際的に標準化することが不可欠である。</p> <p>東京電力が 802.15.4g そして、802.15.4e システムを、その無線通信方式として採択する決定を出したことは高く評価できる。しかしながら、一般論として、その標準仕様の中には多くのオプションスペックが記載されている。東京電力はそれゆえに、その世界標準規格から、最適な部位を抜き出し、必要に応じて規格を追加する必要がある。その新しい規格として、Wi-SUN アライアンスは企業間の相互接続性およびその接続性のための試験項目を追加す</p>	<p>いただいたご意見については今後の通信方式選定時の参考にさせていただきます。通信方式の選定においては、コスト、技術の優位性、今後の普及や長期利用の見込み等の見極めが重要となるため、確立された標準規格の採用を原則として、今後、RFP と技術実証により詳細に評価する予定です。</p> <p>また、ご意見の通り、相互接続性を確保するための仕組み作りは重要と考えておりますので、通信方式の選定と合わせて検討して参ります。</p> <p>なお、コストミニマム化の観点から、ガスや水道等の他ユーティリティ事業者などとの通信インフラ共用について、各事業者と連携の上、検討してまいります。</p>

	<p>ることを強く求める。しかし、その項目を追加することは東京電力にとって非常に重みになる。そこで Wi-SUN アライアンスはその仕事を世界的な認証団体に委託する必要がある。その機関は日本のみならず、世界各国の企業および利用者を含み、そして、日本の企業のみだけで構成されるものであってはならない。その団体の中において、東京電力は総合接続性に関するワーキンググループを立ち上げ、その議論を主導し、最終的に、相互接続性のためのスペックおよびテストプランの構築を行う必要がある。</p> <p>Wi-SUN アライアンスは、東京電力がそのような行動に出る場合、強く支持し、そのようなコミュニティおよびワーキンググループをアライアンスの中に構築することを約束する。</p>	
--	---	--